

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	経済学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

○2009年度からの目標

1. 講義と試験により、成績評価の客観化を促す。
2. 査読つき専門雑誌への投稿促進のため、複数教員による集団指導体制の強化により計画的に研究指導する体制を確保する。
3. 博士課程後期課程修了時の課程博士授与者を増やす。
4. 日本学術振興会特別研究員（DC，PD）の申請者を増やし、採用者を毎年1名以上を確保する。

○指標

1. 試験素点数、学部生と院生の成績、修了者の大学教員・研究職・高度専門職への就職者数。
2. 研究科のディスカッションペーパーへの院生の投稿数、査読つき専門雑誌への院生の投稿論文数。
3. 入学後5年間での課程博士号取得者数。
4. 日本学術振興会特別研究員（DC，PD）の申請者数、採用数。